



いしがみ

36
2022.1.10

社会福祉法人 南相馬福祉会

編集
発行

グループホーム石神

石神デイサービスセンター

TEL 0244-26-5811

TEL 0244-26-5812

FAX 0244-25-7125

FAX 0244-25-7125

〒975-0061 福島県南相馬市原町区大木戸字西原71-1

E-mail ishigami@orange.ocn.ne.jp URL <http://minamisomafukushikai.or.jp/>

- グループホーム石神……………定員18名
- 石神デイサービスセンター…定員30名

外国人介護人材 受け入れ準備始まる!!

昨年12月6日にミャンマー出身で宮城県在住のスーザ・ミョータン氏をお迎えし、ミャンマー人との円滑なコミュニケーションの取り方、日本とミャンマーとの生活習慣や働き方の違いなどについて、講話を頂きました。

当法人では今年4月よりミャンマー人介護人材7名の採用を決定しており、グループホーム石神には女性1名の外国人介護職員が誕生します。

彼女たちに、不慣れな土地での生活にいち早く溶け込み、その持つ能力をいかに発揮してもらうため、受け入れ側の我々も様々な準備を開始したところです。先の講話はその一環として開催しました。未知への不安はありますが、新しいことへのチャレンジが大きく法人を成長させるものと信じて取り組んでいきます。



年頭の「あつち」

常務理事 菅原 武

皆様ご健勝にて、新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、表紙記事にもありますように

に、今年4月には、ミャンマー人介護人材7名を介護職員として迎え入れます。ミャンマー人は仏教徒で信仰に厚く、穏やかな性格の方が多いのが特徴で、介護の仕事に向いていること、来日する7人は母国にて2年間、介護技術や日本語を勉強し、一定水準に達していること、などが採用の決め手でした。今後は、5年間の日本滞在中に介護福祉士の資格取得を目指します。

介護人材を確保するために職員処遇の改善、働きやすい職場環境の整備、ICT機器を活用した業務負担軽減など様々な取り組みを行っておりますが、生産人口減少により人材確保は容易ではなく、地域における将来にわたる介護サービス提供体制の維持に危機感を持っております。介護は、人と人が寄り添う関係性により成り立ち、絶対的な人手を必要とする業態です

ので、地域内における人材確保に課題があることから、外国人介護人材の採用を判断した次第です。

新たな取り組みなので不安がないとは言えませんが、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



グループホーム石神

花植え

グループホーム石神ではプランターにパンジーの花植えを行いました。ご利用者はテキパキと苗植えを行い、あれよあれよという間に作業も終了しておりました。日々寒くなってきましたが、パンジーは元気にきれいな花を咲かせています。ご利用者の皆さんも寒さに負けないで元気に過ごしてもらいたいと思っております。



紅葉ドライブ

狙い、紅葉ドライブに出かけてきました。もちろん感染症対策をしっかりと行い、人ゴミを避け外出しました。紅葉ドライブ中の様子ですが、久しぶりの外出に車窓の景色を眺めながら楽しみに会話をされ、木々が紅葉している様子を見つけては嬉しそうな表情を浮かべ、「紅葉綺麗だね。」という言葉が聞かれておりました。短い時間でしたが皆様に笑顔と共に季節を感じて頂けたようです。

新型コロナウイルス感染症が落ち着いている現在の状況を



石神デイサービスセンター

紅葉ドライブ

石神デイサービスでは11月4日～11月10日に「紅葉ドライブin宝蔵寺」を行いました。

道中遠くの山々の少し色付いた木々を眺めながら目的地へと向かいます。コロナウイルス感染対策のため降車はせず、車内からの見学となりました。車窓から見える宝蔵寺の駐車場には『寒桜』がちらほら咲いていましたが、庭の方へ移動してみますと、紅葉がまだ1/3程しか色づいていませんでした。葉の小さいものがあり「ここの紅葉の葉っぱが小さいのは、京都から持って来たからだ。」と生き生きと説明されるご利用者もいました。4月のお花見ドライブ以降久しぶりの外出となり、大変喜ばれていました。



普通救命講習会

今年度の講習会は、3密を避けるため別日に班編成し、事前にeラーニング(動画)講習を受講し、救命の手順の確認を行いました。その後、南相馬消防署にて胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの使用手順、実技を再度確認しながら実施しました。いつ、どこで何が起こるかわかりません。いざという時、声を出し、周囲の方と協力しあい「命」をつなぐ一人になりたいと改めて強く感じました。

